

お子さんの50人に1人は「弱視」の可能性があります<sup>※1</sup>

弱視を防ぐために  
早期発見が重要です

# 弱視って なあに？

以下の質問は治療が必要な病気のサインでもあります。

気になる方は医療機関に相談しましょう。<sup>※5</sup>

(該当項目をチェック)

1 <input type="checkbox"/> 目つきや 目の動きが おかしい 	2 <input type="checkbox"/> 黒目が内側に 寄る、外、上、 ななめ上にずれる 	3 <input type="checkbox"/> ひどく まぶしが る 	4 <input type="checkbox"/> ものを見る とき 頭を傾けたり、 横目で見たりする 	5 <input type="checkbox"/> 物に近づいて 見る 	6 <input type="checkbox"/> 明るい屋外で片目を つぶってものを 見ることがある 
7 <input type="checkbox"/> 黒目の中心が 白っぽく見える 	8 <input type="checkbox"/> 黒目の大きさが 左右で違う 	9 <input type="checkbox"/> 目が揺れている 	10 <input type="checkbox"/> まぶたが さがっている 	11 <input type="checkbox"/> 親、兄弟姉妹に 弱視、斜視、 生まれつき目の 病気の人がある 	

【監修】日本小児眼科学会/日本弱視斜視学会

【参考文献】

- ※1.日本眼科医会 園医のための眼科健診マニュアル  
[https://www.gankaikai.or.jp/school-health/20191015\\_eni\\_manual.pdf](https://www.gankaikai.or.jp/school-health/20191015_eni_manual.pdf)
- ※2.日本弱視斜視学会 弱視について  
[https://www.jasa-web.jp/general/medical-list/amblyopia#amblyopia\\_1](https://www.jasa-web.jp/general/medical-list/amblyopia#amblyopia_1)
- ※3.日本眼科医会「子どもの弱視・斜視 弱視は早期に発見を」  
<https://www.gankaikai.or.jp/health/betsu-003/>
- ※4.日本弱視斜視学会「弱視とは」  
[https://www.jasa-web.jp/general/medical-list/amblyopia#amblyopia\\_1](https://www.jasa-web.jp/general/medical-list/amblyopia#amblyopia_1)
- ※5.日本眼科医会 3歳児健診における視覚検査マニュアル  
[https://www.gankaikai.or.jp/school-health/2021\\_sansaijimanual.pdf](https://www.gankaikai.or.jp/school-health/2021_sansaijimanual.pdf)

【資料制作】

ウェルチ・アレン・ジャパン株式会社  
東京都港区芝浦 3-4-1 グランパークタワー 30 階 03-4567-1403

気になる症状が  
ありましたら、  
お近くの眼科に  
ご相談ください

# 弱視

# とは



弱視はこどもの50人に1人起こると言われており、多く見受けられる病気です。子どもの目の機能は3歳頃までに急速に発達し、6歳～8歳頃までにほぼ完成します。その時期に斜視や強度の屈折異常（遠視・近視・乱視）があったり、光が眼の中に入ることが妨害されたりすれば、適切な視覚刺激がうけられず、健全な視力の発達が阻害されて「弱視」につながります。しかし、適切な時期に治療を受けるとよく見える目に育ちます。弱視はお子さん本人からの訴えもなく、ご家族も気づきにくいので、早期発見、早期治療が大切です。早期に弱視を発見し、弱視の原因を取り除くための治療、アイパッチ、メガネの装用といった訓練をすることで、視力の発達を促すことができます。

## 弱視には以下の4種類があります。<sup>\*2</sup>

### ■ 屈折異常弱視

主に遠視、時には近視・乱視が両眼ともに強いためにおこる、両眼の視力発達障害です。

#### ■ 特徴

目を細めて見る、近づいてものを見るなどの症状で気づくことがあります。程度が軽い場合には、視力検査ができる年齢まで気付かないことがあります。3歳児健診、就学時健診で見つかるケースが多いです。

### ■ 斜視弱視

眼の位置がずれる「斜視」のために、斜視になっている眼の視力が発達しません。

#### ■ 特徴

視力が悪いために斜視になっている場合と、斜視のために弱視になる場合があります。斜視をうたがったら早期に眼科を受診しましょう。

### ■ 不同視弱視

主に遠視、時には近視・乱視に左右差が強いためにおこる、片眼の視力発達障害です。

#### ■ 特徴

片目の視力は正常に発達しているため、日常生活では気がつかないことがほとんどです。3歳児健診に屈折検査を導入することで発見率をあげることが期待されています。

### ■ 形態覚遮断弱視

先天白内障、眼瞼腫瘍、高度の眼瞼下垂などのために視覚刺激が網膜まで届かない、片眼あるいは両眼の視力発達障害です。

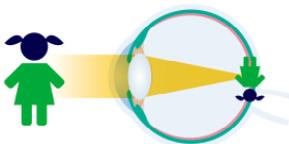
#### ■ 特徴

弱視のなかではもっとも治療が困難な弱視です。片眼を遮閉しないように予防することと早期発見が重要です。

近視・遠視・乱視の説明（主に図解）

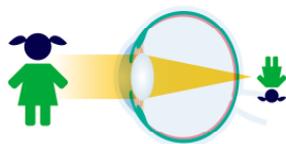
### ◆ ◆ 正視 ◆ ◆

遠方から来る光線が網膜上に焦点が合い、ものがはっきりと見える状態。



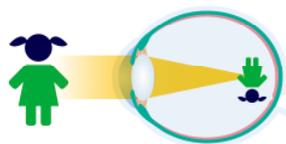
### ◆ ◆ 遠視 ◆ ◆

遠方から来る光線が網膜の奥で焦点が合い、程度が強いと遠くも近くもものがぼやけて見える状態。



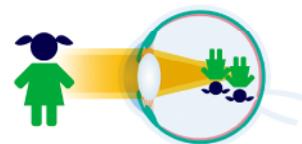
### ◆ ◆ 近視 ◆ ◆

遠方から来る光線が網膜の手前で焦点が合い、遠くのものぼやけて見える状態。



### ◆ ◆ 乱視 ◆ ◆

遠方から来る光線が眼の中で1点に結ばれず、遠くも近くもものがぼやけて見える状態。



## 3歳頃までに発見

弱視を発見できると、視力はかなり回復します。<sup>\*3</sup>

## 早期に治療を開始

治療に反応して視力が改善していきます。<sup>\*4</sup>